

Rotary Yachiyo



2024-25 年度国際ロータリーテーマ

「ロータリーのマジック」

2024-25 年度クラブテーマ

「互いに親しみ・広げよう交流と親睦」

週報 第2762回

2024年10月4日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：今年達成した事と抱負

担当：米山記念奨学会

卓話者：ハルシュ アニメーション様

次回例会

テーマ：現在の子供食堂について

担当：社会奉仕委員会

卓話者：ふらっとホーム大和田 橋本隆夫様

◆◆◆第2761例会◆◆◆

司会 佐野忠信

「それでこそロータリー」「赤とんぼ」斉唱

お客様

米山記念奨学生

ハルシュ アニメーション様

会長挨拶

会長 安宅照男

元旦の能登半島地震の影響が続く中で、大規模な豪雨に見舞われ深刻な災害が発生し、輪島市や珠洲市では、わずか数時間で月間降水量を超える雨が降り、複数の河川が氾濫しました。輪島市では、裏山の崩壊により住宅が倒壊し、複数の人々が行方不明となっています。さらに、仮設住宅や復旧工事の現場も影響を受け、多くの建物の倒壊や床上浸水等被害が出ています。被災された皆様が1日でも早く復興されますよう心よりお祈り申し上げます。

ロータリー青少年交換派遣生、金杉旺汰君の2次選抜試験が22日に行われ、地区青少年プロジェクト統括委員会田村副委員長、青少年交換委員会の稲山委員、久土地委員、寺沢幹事、安宅5名にて参加しました。23日メールにて、長期少年交換選抜試験の合格通知が届きました。1次、2次試験を合格した志願生、その保護者(父、母)、並びにスポンサークラブ担当は当地区開催のオリエンテーションに計6回参加して確定となりま

す。今後、家庭負担する費用とクラブ負担する標準的な費用分担を明確にして進めていきたいと思っております。

私たちは多くの人に支えられ、今を生きています。私という人間は大勢の人たちから大切にされている、かけがえのない存在であるという事でもあります。その事実を認識したとき、心の中に安心が生まれ、人生を生き抜くための力がわいてくるのではないのでしょうか。そして自分が、かけがえのない存在であるとすれば、自分以外の一人ひとりもまたかけがえのない存在であると言う事でしょう。自分が受けている恩恵を知り、感謝することは、思いやりの心を育む第一歩です。自分自身が受けている恩恵について考えると、「今は亡き親の恩」や「行きずりの人から受けた恩」のように、もはやその相手には直接返せない恩もあるでしょう。あるいは、返しきれないほど大きな恩もあるはずですが、しかし、その恩を次の誰かに送り、送られた人もまた次の誰かに送るということを繰り返せば、思いやりの心が時代も国境も乗り越えて社会の中をめぐっていきます。誰かの思いやりある一言に触れてありがたく思ったなら、自分も他の人に温かい言葉をかける。誰かの手助けをうけて救われた気持ちになったら、自分も「困っている人の力になれば」という目で周囲を見渡してみる。子供や孫の時代には、今より少しでもよい暮らしをと願って努力を重ねてきた先人たちへの感謝を胸に、自分も次の世代のために、よりよい社会づくりに貢献していく。それは支え合いによっ

て成り立つこの社会の一員としての、大切な務めといえるのではないのでしょうか。

幹事報告

幹事 寺沢一三

- ・R財団セミナーが 11/28 開催されます。参加者の方、よろしくお願ひします。
- ・RLIパート3開催。希望者は事務局にお声がけ下さい。
- ・納富会員が 10/1 付けで八王子支店に異動となります。

お客様ご挨拶

米山記念奨学生

ハルシユアニメーション様

2019 年から日本に住んでいますが、9月に家族が初めて来日しました。そのため 14 日のバーベキューパーティーに参加できず、申し訳ありませんでした。家族と一緒に過ごす事が出来て良かったです。9月にもうひとつビッグニュースがありました。東京大学大学院の入学試験に合格しました。正直、筆記試験はボロボロだったので、全く期待していませんでした。そのため面接ではもう落ちたと思って、開き直って正直に答える事にしました。東大ではだれもが憧れる松尾研究室という AI の研究室があります。面接官に松尾研究室が第一希望ですが、第二志望についても話し合いたいですと正直に言ったら、先生方も大笑いしていました。私は日本の大学から応募したので国内学生扱いでしたが、これが幸いし結果発表の時に両親が日本に居てくれました。インドの親らしく、お祝いはアイスクリームを食べに行った事だけでした。家族に京都、奈良、長崎、広島、金沢等を案内しました。

皆さまのおかげでこの素晴らしい機会に恵まれました。会員の皆さまのサポートに感謝します。これからも皆さまの期待に答えられるように、精一杯努力します。

委員会報告

SAA

正SAA 植村正徳

来週から 10 月に入りますので、クールビズを終了します。ネクタイの着用をよろしくお願ひ致します。

親睦活動委員会 委員長 飯田明彦

10/18(金)さわ田茶屋にて月見の会(新

入会員歓迎会)を開催します。出欠について回覧しますのでご記入下さい。

お祝い

本人誕生日：栗原会員
結婚記念日：橋本会員・中村会員
夫人誕生日：小村美枝子様
大曾根美保様

例会行事

国際奉仕委員会 委員長 橋本幹雄

24～26 日に高野山に行って参りました。奥の院で全ての悩みを一身に引き受けて、即身仏になった空海を、地下から真正面に見られる場所で、会員の皆さまや、その家族、ご友人の代表として、会員の皆さま方の安寧を心からお祈りをしてきました。

今日は国際奉仕委員会として 8/24 に地区の奉仕プロジェクトセミナーに参加しましたので、そのお話を致します。

テーマ：「TSUNAGU2790」の

報告と奉仕について

卓話者：橋本幹雄会員



先般 8月24日(土)に実施された4つの奉仕プロジェクトセミナーのうち、担当であります国際奉仕委員会のプレゼンテーションについて報告致します。このプロジェクトは、下館ロータリークラブがフィリピンへの文具の提供を実施している「この指とまれ」(世界でよいことをしよう)を参考にして始まり、3年目の今年が初めてのプレゼンテーションとのことです。

※下館RCのプロジェクト内容：下館RC 10万円＋協賛金27万円＝総額37万円

本日は、地区国際奉仕委員長の提唱主旨を当日のプログラムより、忠実に転記させていただきます。

このプログラムは「一つのクラブでは資金的に困難な時、もう少し大きな事業をしたいとき、でもロータリー財団地区補助金

を使うほどの事業ではないとき」に事業の提唱クラブとなりプレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」というプログラムです。簡単に言うと国際奉仕のクラウドファンディングです。これにより多くのクラブが国際奉仕に参加しやすくなると思います、今年より実施していきます。

ひとつの国際奉仕事業プロジェクトを遂行するには、相応のエネルギーが必要です。この「TSUNAGU2790」プロジェクトの事業活動主体は起案提唱したクラブが主に行うものですが、拠出したクラブもプロジェクトの節目に参加し、この事業の共同意識を持って頂きます。これにより、次は自らのクラブも積極的に国際奉仕事業を行おう！とロータリアンが奮起して頂ければ、2790地区全体が活気づくものと考えます。賛助クラブから国際奉仕の第一歩を踏み出し、そこから自分のクラブで企画し、提唱クラブ側になっていく、さらには財団地区補助金、グローバル補助金を使つての国際奉仕にまで繋がればと思っています。「TSUNAGU2790」を通じて、私たちは世界中の人々と手を取り合い、共に未来を築いていくことを願っております。皆様のご協力とご支援が不可欠です。このプロジェクトが成功し、多くの人々の生活を向上させるために、どうかご協力ください。以上です。

※クラウドファンディングとは、群衆(crowd)と資金調達(funding)を合わせた造語。取り組みたい活動、企画、アイデアを持つ人が、インターネットにプロジェクトを掲載。活動への思いを社会に呼びかけ、広く支援者から支援を集める仕組み。本日お手元に配布しました資料は当日プレゼンテーションをした3クラブの詳細です一読の程宜しくお願い致します。

奉仕について

国際援助の元になる奉仕「service」の意味を調べてみると。「奉仕」の本来の意味は、利益を目的とせず国家や社会組織や他人(ヒト)のために私心を捨てて尽くすこと。であり、自主的、強制的を問わない活動全般である。また、「サービス」には、商人が客のために特に安く売ること。から、相手の身に添って客が満足するように対応すること。とある。「ボランティア(volunteer)」とは、自分の意志で自主

的に社会や集団や他人のために「奉仕活動」をする人のこと。であり、自主性(主体性)、社会性(連帯性)、無償性(無給性)の三大原則がある。

ここで、一つの逸話を。

『まあ、お国は随分と貧しいようだけれん、これからバーンと日本が援助すつから・・・云々』

これは嘗て、品の悪い我が国の大臣が、新興独立国の大統領に発した演説の冒頭部分である。これには、さすがに同席の日本の商社マン一同を青ざめさせた。通訳官までが「貧しい」をそのまま忠実に訳し、その上ダメ押しのように、相手に手渡された英訳された演説原稿にもちゃんと「poor country」と記されていた。自国について「貧しい」と卑下するのはいいが、なにも他国の人間に言われたくない。大統領は当然ムツとしたが、そこは喉から手が出るほど欲しい円借款(ODA・政府開発援助金)であるから必死に怒りを堪えていた。もっとも大臣自身は、相手が気分を害していることに全く気付いていない。カネを借りる側は、それだけでも屈辱感をなめているはずなのに、その傷に塩を擦り込むような言葉の刃。国民の血税を元手にカネを貸し与えながら、世界中で嫌日国を増やしている可能性が大いにある。と、同席の商社マンから伝え聞いた話として、ロシア語通訳者・著者の「米原万里」さんの『ODAの寄生虫』のエッセイで著している。上記のエッセイには、「チップを渡すにも、上手い下手」に通ずるものがある。チップを渡すのに、「くれてやる！」と尊大に発するか、「よろしくお願いね。」とやるかで、その人の人格が分かるというものである。

奉仕には、組織の場合(強制的)と個人の場合(自主的)がある。私たちは、私たちの税金で強制的(知らぬ間)に、円借款(ODA)と言う国際奉仕をしているのである。同様に、ロータリーの会費が意識するかしないかに関わらず、ポリオ撲滅や交換留学生の派遣や受け入れなど数多くの国際貢献に使われている。世界的には富める者が貧しい者に施しを与えるのはむしろ当たり前であった。世界各地、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教など宗教を問わず「喜捨(寺社や貧乏な人に施し物を喜んですること)」と言う貧者への施しは、富裕な者の義務(高貴なる者の義務:ノブリーズ・オブリージュ)と考えられた。それにより喜捨をした

者は社会的な尊敬を集め、「徳」のある者と言う評価を得ることができた。喜捨は、ただ一方通行の贈与ではなく、施した側にも見返りとして一定の「徳」がもたらされる互酬的な行為だったのである。与える者は与えられる者の気持ちを汲んで、なるべく負担(引け目)を感じさせないように配慮しなければならない。一言で言うならば、相手に寄り添う心根がなければならない。と言うことである。これが「陰徳の情」と言うものである。

「陰徳」の精神とは、人に知られないように秘かに奉仕を行うこと。であり、自分の利益や名声を求めずに行う奉仕やその行いを通じて自らの人格が高められることである。そして、自分の心の内から沸き起こってくる前向きな気持ちや喜びの感情こそが奉仕の源であり、他人の福利を願う利他的行為によって自らの精神も高められる。だから、与える者と与えられる者は50対50のフラットな相互互恵な関係に昇華される。故に、奉仕とは、「自分の為にさせて戴くこと」によって自己の精神も高められる。行為でもある。決して、与える側の優位性に奢ってはならない。まして、与えるカネはガバナーらのポケットマネーでもなく、我々会員の会費であるのだから。「陰徳」は本来陰陽思想に起因しているから「陰徳」があれば「陽徳」もある。「陽徳」とは、おおっぴらに人に知られる奉仕(善行)のことである。

ロータリーも発足当初は個人の人格や力量にまかされており、真っ当な仕事をするものはその仕事から得られた利益の一部を誰に強制されるでもなく自主的に社会に還元して来たのである。組織が大きくなるにつれ、個人の力だけでは限界があることにより集団の力の結実によって、より多くのより広い範囲で世間の耳目を集めるべく奉仕活動を推進するようになった。それが、所謂「ポリオ撲滅」の奉仕活動という「陽徳」のいい例ではないか。いいことをするには誰も反対できな

い。だが、いいことをするにはカネがかかる。その金の調達方法は組織全体であるか。個人の資力に委ねるか。は、全体主義の組織論か、個人中心主義か、の分かれ道である。「自分の為にさせて戴くと言う謙虚な心構え」である陰徳の情を持ちさえすれば、組織的であろうが個人的であろうが、奉仕の成果を声高に主張する必要がない。という理想論を述べたいが、現実はなかなか厳しいかもしれない。結論として、利他的な奉仕活動は自分の為に自らの意志で、「出来る人が、出来る時に、出来る範囲で。」すればいいのではないか。さもないと、継続は難しくなり変な奢りの陥穽に嵌まり、「親切ごかしにものを言う、恨みの始まりなり。」になっては元も子もなくなってしまう。かもしれない。のだから。

～ニコニコ BOX～ ￥45,000-

- ☆誕生祝ありがとう。
- 87歳になりました。 栗原
- ☆結婚記念日ありがとう。 橋本
- ☆何回目だか忘れまして。
- 色々ありましたね～！ 中村
- ☆妻にお祝いありがとう。 小村
- ☆お祝い有難うございます。 大曾根
- ☆橋本会員卓話楽しみです。
- 三井・花島・上代・佐久間・植村・石渡
- 中島貞好・池田・遠藤・寺沢・杉・江頭
- 伊藤・中島仁・君塚・山浦・菊川・杉山
- 日下部・風間・中村・安宅・稲山
- ☆ハルシュさん東大合格おめでとう。安宅
- ☆先週休みました。 中村
- ☆小林君ガンバレー！ 江口

～友愛 BOX～ ￥4,000-

- ☆橋本会員卓話楽しみにしています。
- 朝戸・渡邊
- ☆ウクライナ・ガザ地区を見て人間は調和の中で幸福を追求するものと痛感しております。 佐野
- ☆来週例会休みます。 栗原

近隣クラブ例会日		例会場				
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフ倶楽部				
火曜日	八千代中央R.C	ウィシントンホテル・ユーカリ				
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館				
水曜日	佐倉中央R.C	ウィシントンホテル・ユーカリ 最終オリバート夜間				
木曜日	佐倉R.C	佐倉商工会議所				
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館				

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
9 / 27	55	48	42	87.50

10月のロータリーレート1ドル¥142-

- クラブ広報委員会 委員長： 菊川秀明 副委員長：佐久間勇治
- 欠席の際は必ず月曜日迄に事務局に連絡して下さい
- 例会日：金曜日 12:30～13:30
- 例会場：パッツ・ナヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ 1F: FAX047-450-0050)